

NPO 法人「外国から来た子ども支援ネットくまもと」

2016年度 活動報告

活動内容

NPO 法人「外国から来た子ども支援ネットくまもと」では、外国にルーツを持つ子どもたちを対象に、以下の4つの活動を行っています。

① 日本語指導



② 進路サポート



③ 仲間づくり



④ 学習支援と居場所づくり



- 1) おるがったステーション
- 2) 非漢字圏から来た生徒のための漢字学習会
- 3) ひだまり日本語教室

① 日本語指導「くまもとこどものにほんご」

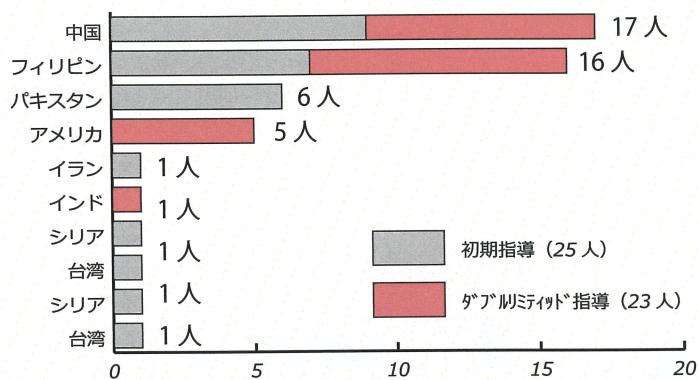
委託自治体数

9
自治体

児童生徒数

48
名

ルーツ別児童生徒数と指導内容

小中学校で日本語指導が行われている
熊本県の自治体

1) NPO 法人「外国から来た子ども支援ネットくまもと」がこれまで委託を受けた自治体（計 13 自治体）

菊池市、合志市、大津市、宇土市、宇城市、山鹿市、玉名市、菊陽町、大津町、益城町、山都町、美里町、津奈木町、南阿蘇村

2) 市独自で日本語指導を実施している自治体（計 2 自治体）

熊本市、八代市

2016 年度は、合志市、宇土市、宇城市、山鹿市、菊池市、菊陽町、大津町、美里町、南阿蘇村の 9 自治体から日本語指導委託を受けました。また、委託児童生徒（2017 年 3 月現在）は 48 名でした。ルーツは、中国、アメリカ、フィリピン、インド、フランス、ドイツ、インドネシア、パキスタン、イラン、シリア、日本（帰国子女）です。

※日本国籍も含む

数年前までは中国ルーツの子どもたちが大半を占めていましたが、ここ最近はフィリピンをはじめとし、様々な国のルーツを持つ子どもたちが増えてきました。

また、活動当初は来日したばかりの子どもたちに日本語の基礎を教える「初期指導」が多かったのですが、最近ではダブルリミティッド（2 つの言語どちらも年齢相応の言語能力がついていない状態）の指導も増えてきました。

これは、学校の先生方の外国ルーツの子どもたちに対する問題意識が高くなり、言語的な問題で学習に支障を来たしていることに気づいてもらえるようになったことが大きな理由だと考えています。当 NPO や熊本・外国ルーツの子どもたち支援連絡協議会で行っている「学校の先生向けの研修会」が成果につながってきていると感じています。

②進路サポート

2016/7/10

「第11回 外国ルーツの生徒と保護者のための進路ガイダンス」を開催！

2016年7月10日に、第11回外国ルーツの生徒と保護者のための進路ガイダンスを開催しました。外国ルーツの子どもたち及びその保護者の中には、日本における外国人生徒に対する高校進学のシステムを知らないことにより、望むような進学が出来ないケースが発生しています。第11回も21名の中学生と20名の保護者の方を中心に、たくさんの方にご参加をいただきました。また、今回多くの学校関係者の皆様にもご協力・ご参加いただきました。これにより学校の教育現場における「外国ルーツの子ども」の進学指導に対する理解がより促進されることを期待しています。

< 参加者の声 >

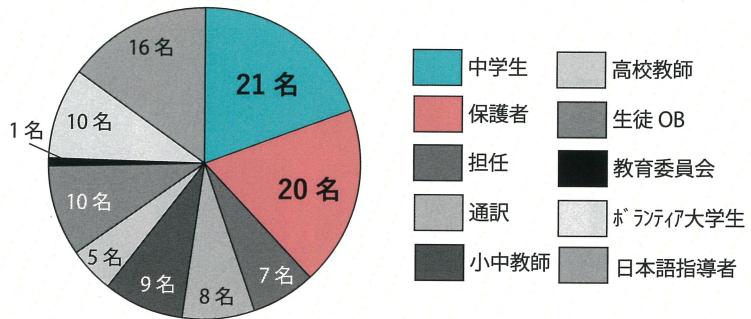
今まで知らなかつたことをたくさん知ることができます。考えも増え、志望校も増えました。高校入試は大事なので家に帰って更に考えたいと思います。
(中学生3年生)

実施内容

- 第1部 高校入試の制度・学費・奨学金の説明
- 第2部 先輩や保護者の体験談共有
- 第3部 個別相談（その場で高校や中学校の教師や先輩に相談）

参加人数 **107** 名

< 参加者内訳 >



子どもの進路を心配していましたが、今日の進路ガイダンスで外国人生徒に対する特別配慮などの制度を聞いて、少し安心しました。子どもと共にしっかりと進路を考えたいと思います。（保護者）

③仲間づくり

2017/3/25~26

「第10回 九州外国ルーツの生徒交流会 in くまもと」を開催！

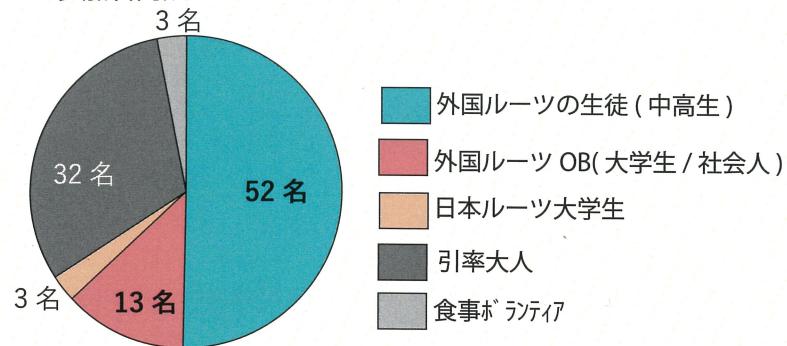
2017年3月25～26日に「第10回九州外国ルーツの生徒交流会 in くまもと」を開催いたしました。外国にルーツを持つ子どもたちは、言葉や文化、家庭環境など様々な問題に直面しています。また、学校ではいじめられていると感じて、苦しんでいる子もいます。そのような子どもたちが自身の存在に誇りを持ち、アイデンティティーを持てるよう、毎年この交流会を企画しています。今回は、子どもだけでなく、様々な立場で子どもたちと関わっている大人も集まり、情報交換をすることができました。また、今回は熊本だけでなく、大分や佐賀からの参加もありました。今後は九州の他の県にもこの活動を広げていきたいと考えています。

開催趣旨

- 1) 熊本県内に散在している外国ルーツの生徒の悩みや進路の相談ができるネットワークづくりや仲間づくりの場
- 2) 外国ルーツの生徒を担当している学校の担当者や日本語指導者の情報交換
- 3) 九州全体で外国ルーツの生徒たちや支援者のネットワークづくり

参加人数 **103** 名

< 参加者内訳 >



第10回 九州外国ルーツの生徒交流会 in くまもと 当日の様子（東部 YMCA にて）

当団体は、様々なルーツを持つ子どもたちが、グループで互いに悩みを相談し合って解決の糸口を見つけたり、ゲームやご飯作りなどを通じて、交流を深めました。



④ 学習支援と居場所づくり

1) 「おるがったステーション」

● 学習会 @ 熊本市国際交流会館

毎週日曜日 10 時～12 時： 中学生教科学習
13 時～15 時： 小学生教科学習 /
日本語初期指導

● 学習会 @ 事務局

毎週土曜日 13 時～： 小中学生教科学習
長期休暇 隨時： 小中学生教科学習

参加児童生徒数 (延べ) 50 名
(小学生 12 名、中学生 20 名、高校生 18 名)

サポーター数 (延べ) 47 名

(大人 16 名、大学生 17 名、高校生 14 名)

外国ルーツの子どもたちは、日本語能力の問題から、小学校や中学校の授業についていけないケースが多くあります。

「おるがったステーション」は、そうした子どもたちが集まり、サポーターに教えてもらいながら勉強をする場です。

来日直後の子どもたちは、日本語の初期指導をし、初期指導が終了している子どもたちは、学校の授業の内容を中心に国語や算数（数学）などの各教科の勉強を行っています（宿題のサポートを行うこともあります）。12~13名の子どもたちと、サポーター 7~8名が、ほぼ毎週参加しています。

また、年数回の BBQ や餃子会、漢字学習会は大学生部の「@ほ～む」の大学生が企画し、実施をしています。



↑「おるがったステーション」学習会での食事風景

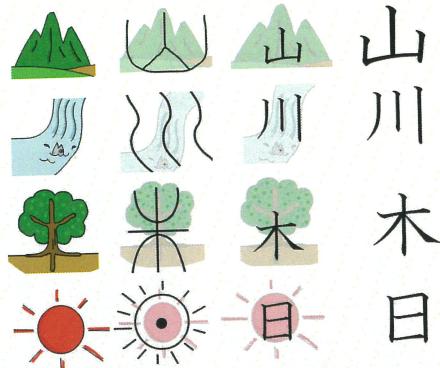


↑「おるがったステーション」花見 BBQ イベント

2) 非漢字圏からきた子どもたちのための 「漢字学習会」

第1回 2016/9/11、第2回 2017/3/31

アメリカやフィリピンなど非漢字圏からきた子どもたち向けの漢字学習会です。熊本市国際交流会館にて、当団体の大学生部「@ほーむ」に所属する大学生5名が企画運営をしました。非漢字圏からきた小学生と中学生4~5名が参加し、ゲームなどを交えて、楽しく漢字を学習しました。



3) 「ひだまり日本語教室」

2015年9月より、毎週水曜日の19時~21時に鹿本市民センターで行っている日本語教室です。サポート約10名で、15名ほどの学習者に日本語を教えています。

当初は子どものために無料で始めた当教室ですが、最近では保

護者やその友人などの大人の学習者が増えてきたため、今後は山鹿市が主催する地域日本語教室という形に移行していきたいと考えています。

2017年度活動予定

- ①「第12回外国ルーツの生徒と保護者のための進路ガイダンス」2017年7月9日 13:30~16:30
- ②「非漢字圏からきた子どもたちのための漢字学習会」長期休暇中(夏、冬、春)※日程未定
- ③「第11回九州外国ルーツの生徒交流会 in くまもと」2018年3月24~25日
- ④「おるがったステーション」
 - 学習会@熊本市国際交流会館 毎週日曜日 10:00~15:30
 - 学習会 @ 事務局 毎週土曜日 13:00~
- ⑤「日本語指導者研修会」 毎月第3土曜日 14:30~16:00
- ⑥「ひだまり日本語教室」 毎週水曜日 19:00~21:00

お知らせ !!

2017年6月4日(日)19:00~19:30 NHK Eテレ
みんなのためのバリアフリー・バラエティ バリバラ
に、「外国から来た子ども支援ネットくまもと」で、
学習をしている子どもたちが出演しました！

お願い

NPO法人「外国から来た子ども支援ネットくまもと」は、外国にルーツを持つ子どもたちの明るい未来を作るために、日本語指導をはじめ、様々な支援を行っています。自治体の委託事業である「くまもとこどもにほんご」以外の、子どもたちの居場所づくり、学習支援に関しては、多くのボランティアの方々のお力と、皆様のご寄付・ご支援により成り立っております。いただきました寄付金は、子どもたちの学習の場の会場費や、学習教材費などに使わせていただいております。今後とも何卒お力添えをお願い致します。

*振込先*****
ゆうちょ銀行(金融機関コード:9900)
一七九店 当座 165967
「NPO 外国から来た子ども支援ネットくまもと」